

2026年3月期（第50期） 第3四半期決算補足説明資料 (Third quarter of FY2026 | 50th Business Year)



2026年2月13日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード : 4662)

Contents

目次

- 01 第3四半期 決算サマリー P. 2
- 02 セグメント別概況 P. 4
- 03 財務状況等 P. 8
- 04 業績・配当予想 - 2026年3月期 (第50期) - P.10
- 05 その他 P.11

第3四半期 決算サマリー① 前年同四半期比

人的資本投資を推し進める中、利益率重視での事業最適化が進む
中期経営計画に基づき“従業員・株主等への過去最大規模の還元”と“大幅増益”を実現

(単位：百万円)

	第3四半期		前年同四半期比	
	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	24,251	26,418	2,167	8.9%
営業利益	1,562	2,447	884	56.6%
経常利益	1,579	2,455	876	55.5%
純利益	1,075	1,733	657	61.1%

第3四半期 決算サマリー② 計画比

売上高は成長基調、各利益大幅増

- 重点戦略により当社事業全体が計画+aで推移
 - ① 高収益案件の増加
 - ② プロジェクト管理の徹底
 - ③ 価格交渉と価格転嫁



営業利益



経常利益



純利益

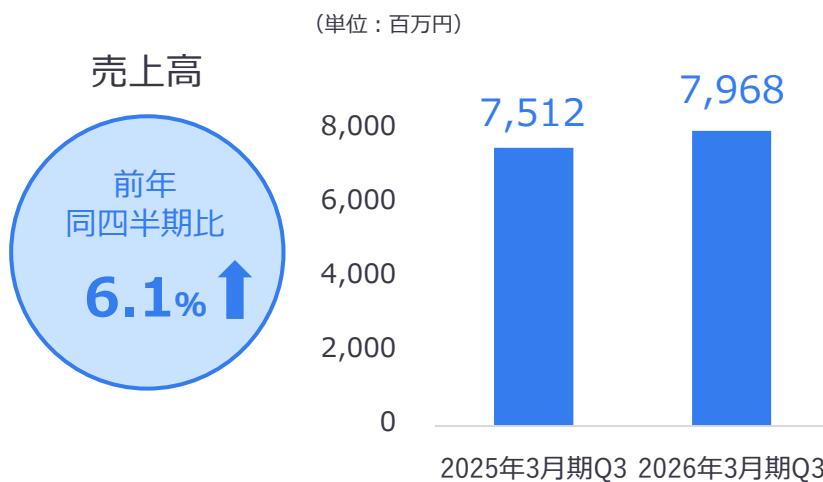


セグメント別概況①

公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼動後の運用・保守

案件の安定運営・単価交渉等により利益率が向上し、增收増益



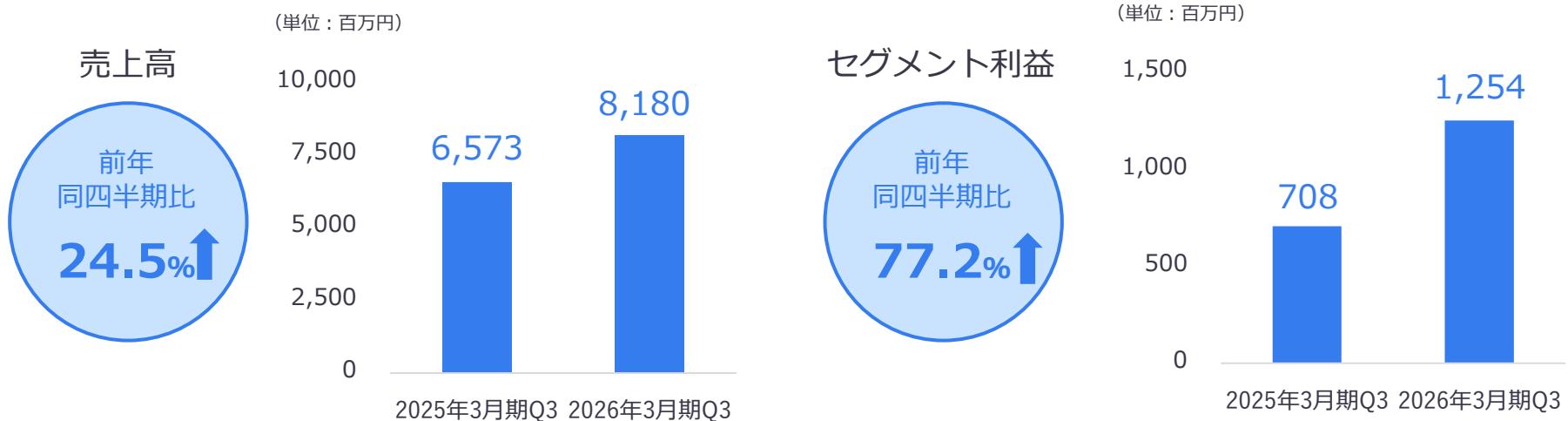
- 社会保障・医療関連・自動車関連等、大規模プロジェクトが期初計画どおりに推移
- マイナンバー関連システムのサービス系開発が着実に利益貢献

セグメント別概況②

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

ERP事業が好調を維持、ワンストップソリューションとターゲティングが奏功し、增收増益



- 主力製品（intra-mart、BizJ）のほか、SFA^{※1}・BI^{※2}等の案件が利益に大きく貢献
- インフラ等が堅実に伸長し、業績を底上げ

※1:SFA…セールスフォースオートメーションの略。営業活動を多面的に支援するシステムの総称。

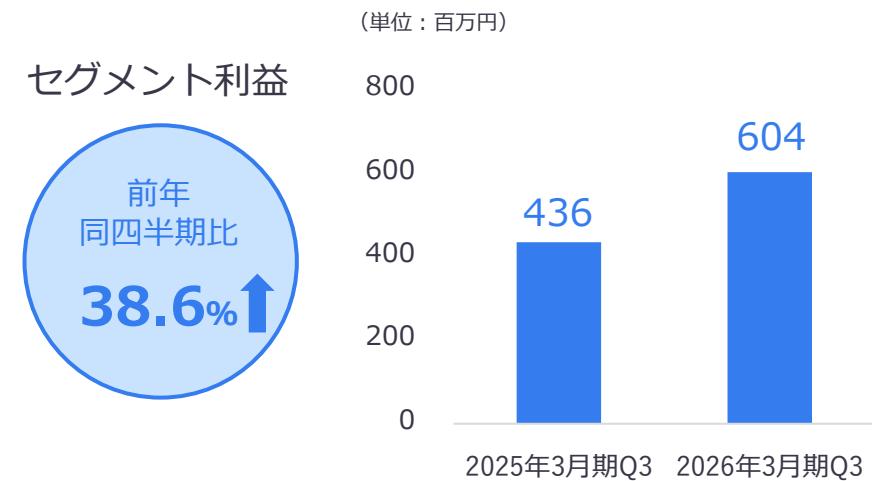
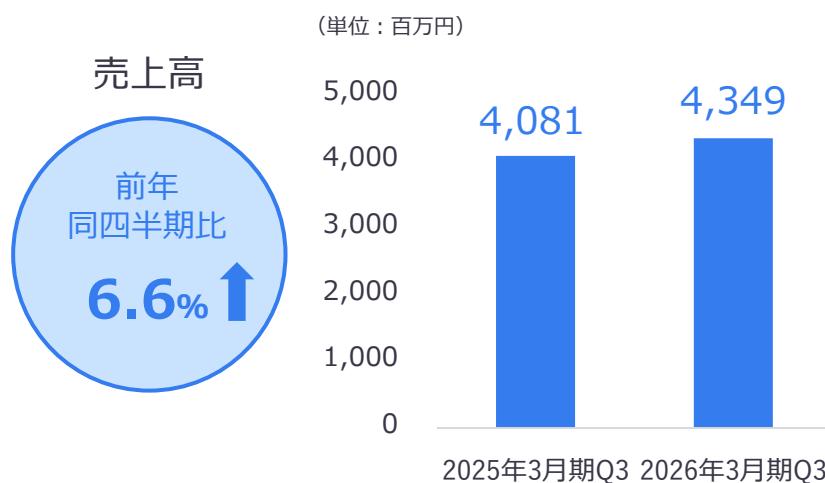
※2:BI…ビジネスインテリジェンスの略。企業データの収集・可視化等により、迅速で正確な意思決定を支援するシステム等の総称。

セグメント別概況③

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

利益率の高い案件へのシフトと価格転嫁により、增收増益



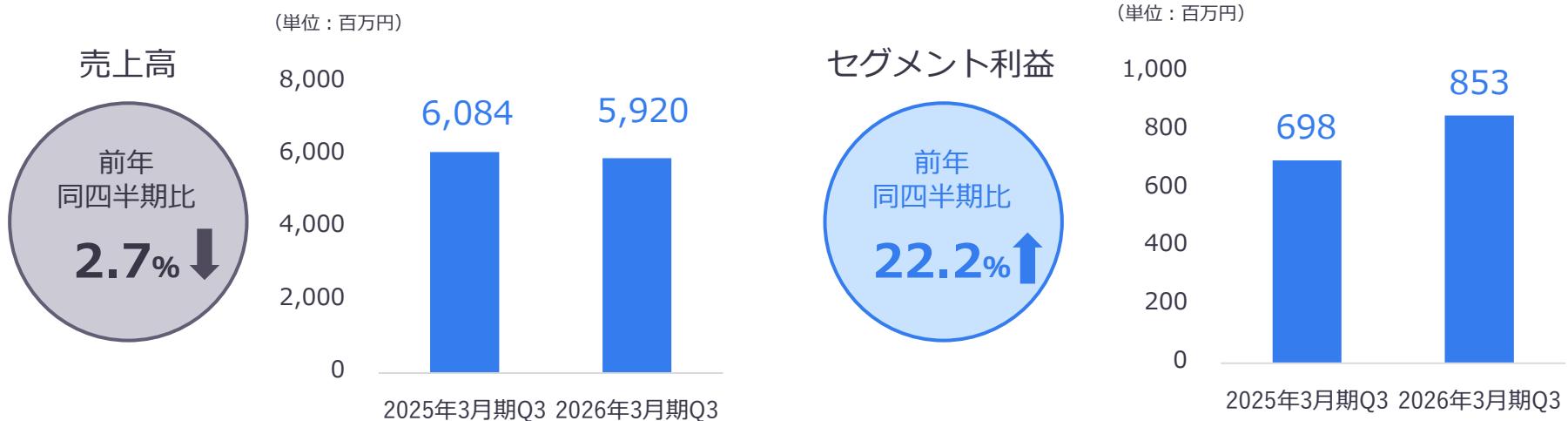
- 入札等が奏功し、新規案件の一次請け開発比率が向上
- 既存顧客・既存案件を起点に、順調に追加案件を獲得して着実に利益を積み増し

セグメント別概況④

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

利益率重視の中、売上高の減少幅を縮めつつ、一次請け開発案件増進し、減収増益



- インフラが堅調に推移したほか、地理情報システム(GIS)^{※3}開発等が利益を創出
- 自社製品（セキュリティ・IoT^{※4}）は横ばいも、製品ラインアップの拡張・販路開拓等が進む

※3: 地理情報システム（GIS : Geographic Information System）は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報をもつたデータ（空間データ）を総合的に管理・加工、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術

※4: IoT…インターネットオブシングスの略。身の回りのあらゆる「モノ」がインターネット等を介して相互に情報をやり取りして様々な機能が拡張されるしくみ。セキュリティ対策も重要

財務状況等① 貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

	前事業年度	当第3四半期会計期間
(資産の部)		
流動資産	13,584	14,318
固定資産	7,308	8,505
有形固定資産	3,505	3,518
無形固定資産	48	46
投資その他の資産	3,754	4,941
資産合計	20,893	22,824
(負債の部)		
流動負債	5,906	6,325
固定負債	938	1,259
負債合計	6,845	7,585
(純資産の部)		
株主資本	12,751	13,165
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,188	2,199
利益剰余金	7,996	9,003
自己株式	△339	△943
評価・換算差額等	1,296	2,073
純資産合計	14,047	15,239
負債純資産合計	20,893	22,824

前事業年度末と比較し1,931百万円増加
(主な増加理由)

- 投資有価証券の増加 1,126百万円
- 現金及び預金の増加 761百万円
- 流動資産のその他に含まれる前払費用の増加 42百万円
- 固定資産の投資その他の資産のその他に含まれる保険積立金の増加 37百万円
- 電子記録債権の減少 38百万円

前事業年度末と比較し739百万円増加
(主な増加理由)

- 繰延税金負債の増加 355百万円
- 流動負債のその他に含まれる預り金の増加 255百万円
- 未払法人税等の増加 207百万円

(主な減少理由)

- 賞与引当金の減少 96百万円

前事業年度末と比較し1,191百万円増加
(主な増加理由)

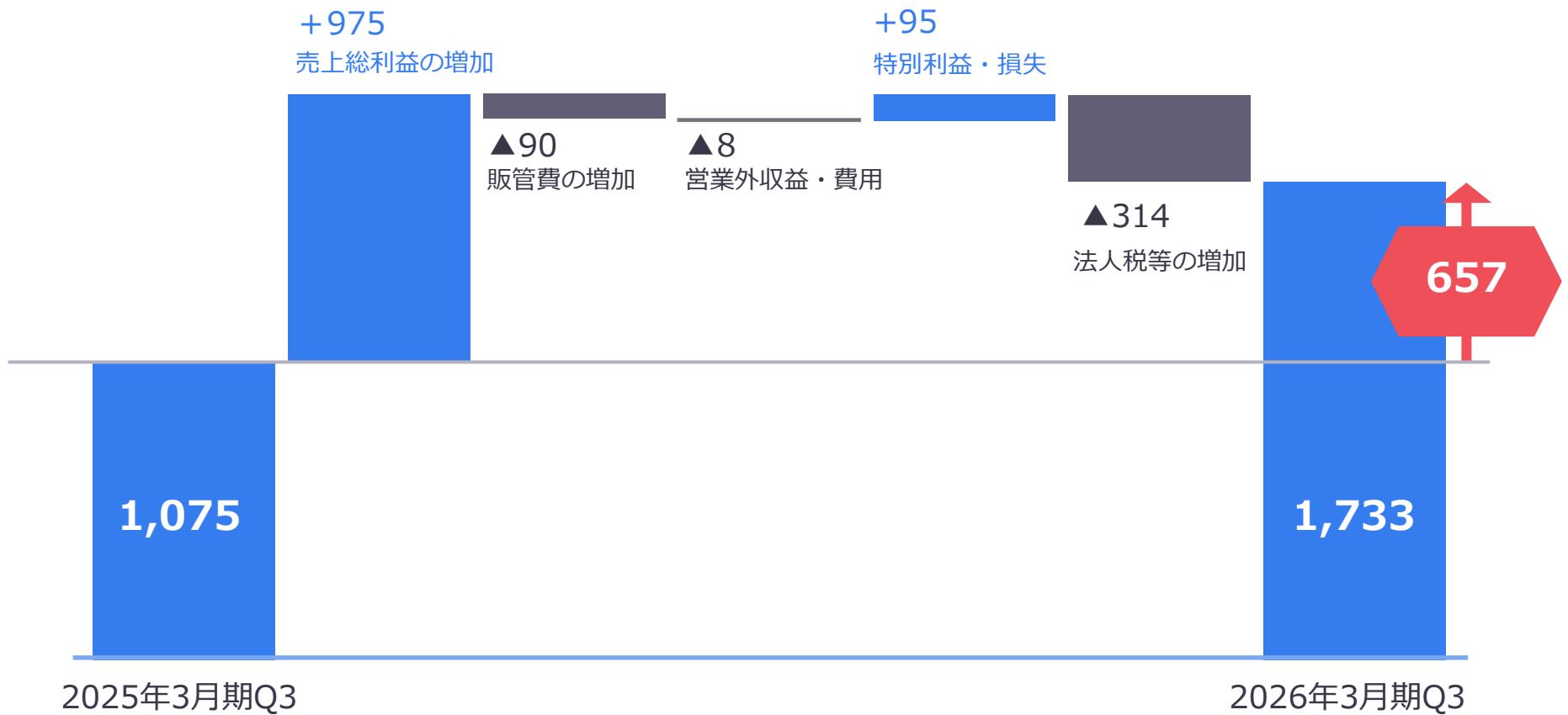
- 利益剰余金の増加 1,007百万円
- その他有価証券評価差額金の増加 777百万円

(主な減少理由)

- 自己株式の取得による減少 604百万円

財務状況等② 純利益の増減分析

(単位：百万円)



業績・配当予想 — 2026年3月期（第50期）—

過去最高の売上・利益、5期連続増配となる計画

今期2度目の増配を発表※5し、1株当たりの年間配当金は62.00円（期初計画50.00円）となる見込み

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減率
売上高 (百万円)	32,555	33,250	2.1%
営業利益 (百万円)	2,171	2,660	22.5%
経常利益 (百万円)	2,164	2,660	22.9%
当期純利益 (百万円)	1,566	1,880	20.0%

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
1株当たり当期純利益 (円)	103.67	125.40
1株当たり配当金 (円)	42.00 (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 36.00	62.00 (内訳) 中間配当 12.00 期末配当 50.00

※5:「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」(2026年2月13日)にて、2025年8月8日発表の配当予想54円(中間12円+期末42円)改め62円(中間12円+期末50円)に修正

その他① 資本コストや株価を意識した経営

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

事業の成長ステージとリスク許容度を踏まえた最適資本構成を追求し、成長投資、財務健全性、株主還元のベストバランスを実現する。そして、投資の成果と連動した株主還元方針を明確化することで、市場からの期待成長率を高め、資本市場からの信頼を盤石なものとする。

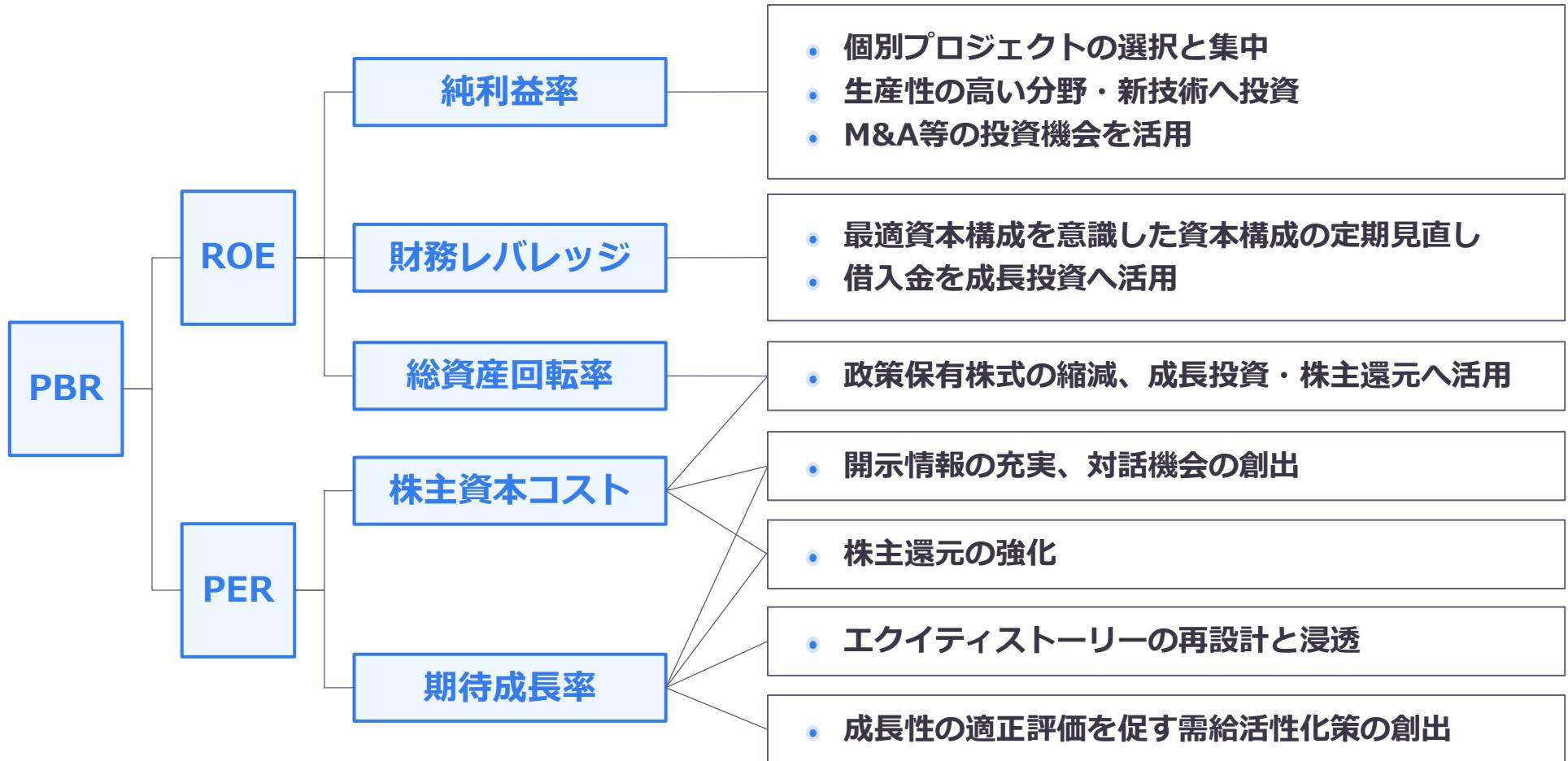
＜重点項目＞

継続的なROEの向上

戦略的なIR活動による
情報の非対称性の是正

認知度の向上

その他① 資本コストや株価を意識した経営 取組み



その他② 中期経営計画24-26 位置づけ

次のステージを視野に、

「成長投資」 「収益性向上」 「従業員・株主等への還元」 を実現



その他② 中期経営計画24-26 進捗状況

中期経営計画は順調に進捗

「発展・利益・還元サイクルの強化」を実現して、株主への還元も強化

	指標	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (中期経営計画)	2026年度3月期 (予想)
利益目標	売上高	315億円	325億円	330億円以上	332億円
	営業利益額	19.7億円	21.7億円	26.5億円以上	26.6億円
	営業利益率	6.3%	6.7%	8.0%以上	8.0%以上
株主還元 目標	ROE	10.7%	11.4%	12.0%以上	12.0%以上
	1株あたり 配当額	38.0円	42.0円	安定配当を継続 (FY24~26)	62.0円
	配当性向	40.8%	40.2%	35~40%	40.0%以上

今後とも、ご指導ご支援のほど、
よろしくお願ひ申し上げます。



「FY」は3月で終了する会計年度で表記しております。（例）FY2024：2023年4月から2024年3月まで
本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入しております。

本資料は、2026年2月13日現在で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2026年2月
13日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果と
なる可能性があります。従いまして、当社として、その確実性を保証するものではありません。